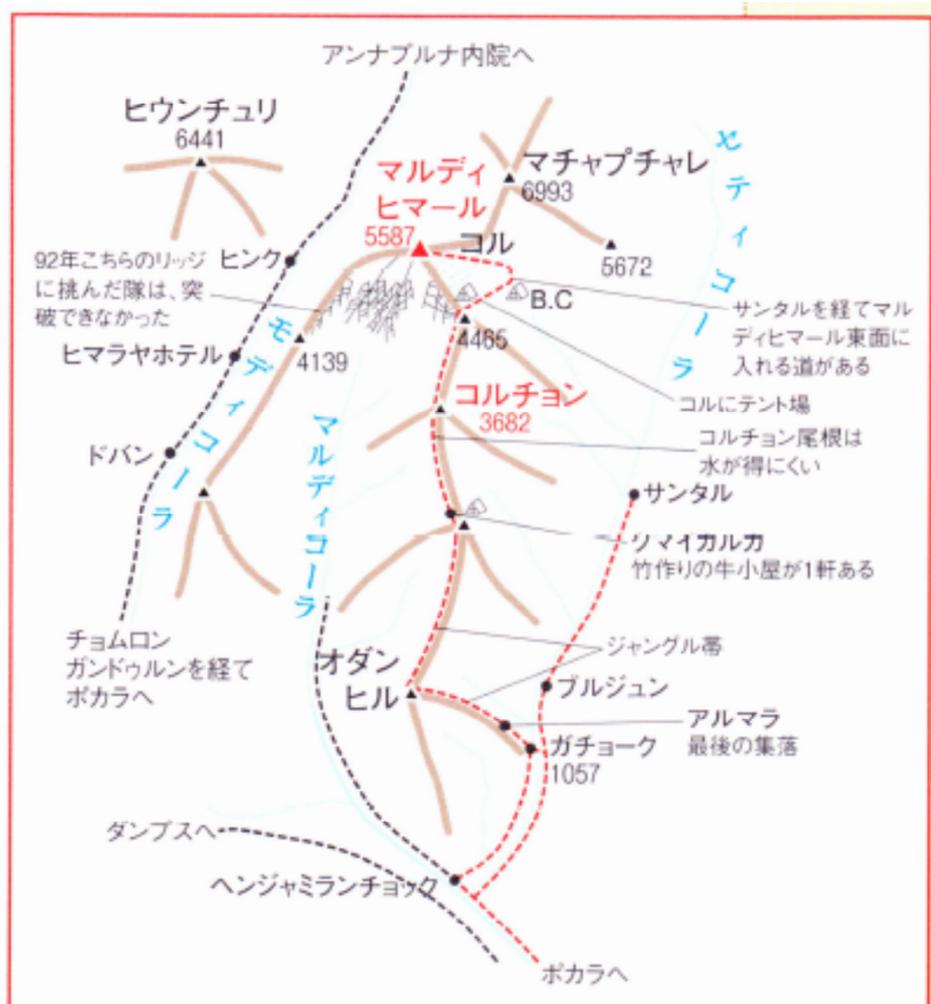


ネパール マルディ・ヒマール (5,587m) 中央稜 (未踏)

田中 規雄



【概略】今回登ったルートは、コルチョン (3,682m) 経由ではなく、モディコーラという文字の右尾根 (南西尾根) 経由である。「92年こちらのリッジに挑んだ隊は、突破できなかった」と記載ある尾根から中央稜に回り込んで登った。

当初、ガネッシュ・ヒマールのパルドール峰 (5,898m) を計画。張り切って5月に航空券を購入していたのだが、11/29、コスモ・トレックより以下のメールが着信。以下要約「10月から突然ライト登山のカテゴリーが無くなり、全ての山が観光省から許可を取得するメジャー登山となった。パルドール峰もキャラバン出発前のブリーフィング (簡単な行政報告)、登山終了後のリ・ブリーフィングが必要。申請書を遅くてもカトマンズ到着の10日前に届くよう手配されたし。保険も全てメジャーと同様、ヘリの保険が全額650\$必要。ジープについては、燃料不足が続き、シャブルベンシまでのジープのチャーターは280\$まで値上がり、今後の見通しは不明。なお、ローカルバスは運行されていない。ゴミの供託金も250\$から500\$になった。なお5,800m以下の山は許可無しで登山可能」とのこと。

申請が面倒になるのは我慢出来ようが、使いもしないヘリに650\$も支払うのは合点がゆかぬ。「止め～止め～」である。航空券のキャンセルも2人で6万円程度であるので、こちらも痛い、お手軽登山を拒絶したネパール政府に鉄槌を！だ。しかしながら、ここ数年

ネパール通いをし、知り得た友人に会う事をお金の問題だけで簡単に止めてしまうのは、人としてどーよ、と考え直し、計画自体を修正してみることにした。先にあげたルールは5,800m以下には適応されず、登山料自体無料ではあり、妥協点を見出す。

12/22 平日出発は慌ただしい。それは分かっているのだが、なぜこうも携帯電話がなる。昨年は土曜出発にしたが、今年は祝日がうまく繋がらず、休みを有効活用するため平日出発とした。羽田空港経由深夜便でバンコクへ。

12/23 タイ・エアーの朝食（焼きそば）で早くも腹を壊す。屋過ぎカトマンズ着。ケロシン（燃料）が手に入らない。まったく？・・・チャイナ（ありません）・・・です。ナルゲン（500ml）が450Rs（約500円）で安い。が、あとでパチ物である事が分かる。本物そっくり。ネパールの買い物は注意が必要である。

12/24 35万円両替→302,500Rsの大枚をザックの奥底に。燃料は？・・・チャイナ（ありません）・・・。おいコラ！小金持ちだぞ、こちらは！・・・買えぬ。

12/25 バスにてポカラへ。グリーンバス（高級・・・小金持ち）であって快適。床屋へ行く。マッサージなしで300Rsを150RSに値切る（小金持ち）と本当に嫌な顔される。ここでディーゼルエンジン用の燃料35L買う。塩を入れれば黒煙が減るのだそうだ。へー！・・・トリビアですが、日本では使えぬ知識。

12/26 ワゴンをチャーターしカンデまで。ここから徒歩。オーストラリア・キャンプで昼食。ここから見るマルディ・ヒマールは大変しょぼい。マチャプチャレの支稜線そのもの。デウラリで宿泊。鉄筋コンクリートでキレイであるが寒い。夕食後食堂で歯磨きすると露骨にフランス人が「シャボン！（歯磨き粉）シャボン！（歯磨き粉）！」と嫌な顔をする。どーしてかね～フランス人って！

12/27 途中ダウラギリ峰（8,167m）望むが雪なし。本日フォレスト・キャンプ泊。ムズタン・コーヒー（コーヒーにネパール焼酎とバターと砂糖入れる）飲む。美味いわげがないが、ネパールではこれを飲まないかね。早く飲まないかバターが固まって気持ちが悪い。ここでのダルバード（ネパール定食）は400Rs。すでにメチャクチャ高い。

12/28 やっとマル





ディ・ヒマールの形が少し分かるが、まだマチャプチャレのカメレオン状態。手前の「箱」状の岩が核心ぼく見えた。フィックスロープ400mで足りるのか？かみさんが望遠鏡持参

し大変便利。ナンゲ・ダント（ダントとは尾根の意味か？）で宿泊。昨年出来たバツティ（小屋）とのこと。口元にでき物・・・ムスタン・コーヒーのバターでしょ。ダルバードは460RSですが、この時期水源が往復2時間の距離。大変だ。

12/29 雲が多くなってきた。多分天気が悪くなるのだろう。ハイキャンプまでの予定。ここでディーゼル燃料で食事作る。目がチカチカして体に悪いわ！ 地図の高度があまりあてにならない。3700mくらいか？

12/30 4300m程度の地点にBCを作る。テント設営中、強風に煽られテントが5~6m舞い上がる。死ぬかと思った。水がないので雪で水を作る。燃料が足りなくなるので薪を拾う。かなり寒いがポーターのクリシュナはいつも半ケツである。ズボン上げ給えよ。

12/31 上部ロックバンドまで偵察。フィックスロープを200m固定したが行き詰った。嫌な予感。今年も失敗か。雪が降ってきて、フィックスロープ回収し、このルートは諦める。

1/1 新年から頭痛。熱も39度まであがる。明らかに風邪だ。完全レスト。

1/2 4時起床。パンケーキに蜂蜜塗りたくって無理やり胃袋に押し込み出発。7時30分に昨日のフィックス回収地まで。ここからルンゼを横断し、別の稜線からアタックする。昼過ぎから落石多く緊張する。あと200m付近で14時まで頂上に到達出来なければ撤退、と決めたが、なかなか到達出来ない。14時16分登頂！！ あいにくマチャプチャレは半分雲にかかった。それほど威圧的な感じがしない。急いで下降するが、デポ地着が16時になった。ヘッドランプ用意し19時までBCに着くかなあ、と不安になる。着くわけがない。結局BCは21時着。晩飯は吐きそうだが食う。私はこういった時でも食える。これは強みだ。

1/3 動けるわけがない。レストになる思いきや下山開始。ナンゲ・ダントまで。かみさ



んが残した夕食を食べる。どーも昭和生まれは米を残せない。キャベジン飲む。

1/4 2時間の行動。フォレスト・キャンプまで。ビール飲む。美味いわあ。太鼓があったので、ネパール・スタッフは、夜遅くまで宴しておった。

1/5 ネパール・スタッフ6時30分になっても起きてこず。

「ロキシー（ネパール焼酎）呼ばれちゃって・・・」ってどこで覚えた、その日本語を！オーストラリア・キャンプ泊。

1/6 ツルー（ガイド）がNMA（ネパール山岳協会）に登頂報告していた。「日本人、タナカ・ノリマキ 48歳 マルディ・ヒマール新ルート登頂・・・」って誰がノリマキやねん！ ネパールのローカル・ラジオに流れる。チャーターした車が2時間遅れ。

1/7 ポカラで死ぬほど寝る。

1/8 カトマンズに戻る。ガソリン給油渋滞。ガソリンは配給制となっているが、当たらないので闇マーケットへ。トイレ休憩飛ばされる。

1/9 ツルーの家など訪問。

1/10 中央労山の佐藤さんがロールワリンへ。物好きだねえ。ローカルバス見送り。果たして無事着いたか。

1/11 機内で「スパイダーマンII」見つつ帰国。年間の映画鑑賞の6割は機内かしら。また来年を誓う。